

# 世帯主と配偶者の所得の構成が 双方の選好に関わる費目の消費支出に与える影響

伊藤伸介<sup>\*</sup>  
出島敬久<sup>\*\*</sup>  
村田磨理子<sup>\*\*\*</sup>

1. はじめに
2. 先行研究と本研究のねらい
3. 使用するデータ
4. 世帯類型から見た所得の構成と消費支出の詳細費目に関するモデル
5. 推定結果と解釈
6. おわりに

## 1. はじめに

わが国を含む先進国においては、近年片働き世帯の割合が減少し、共働き世帯の割合が増加している。共働き世帯においても、夫婦の両方が正規就業であるだけでなく、配偶者においても非正規就業、パート・アルバイト、派遣労働者、有期契約労働者等の様々な働き方が存在することから、配偶者の就業形態は多様化している。このように共働き世帯が増大したことから、家計の消費支出に関しては、これまでの片働き世帯が主であった時期とは異なる消費行動が考えられる。すなわち、配偶者の働き方の違いによって夫婦の所得の構成が異なるため、世帯類型ごとに夫婦の所得の構成が異なる場合の消費支出の特徴を傾向的に捉えることが求められる。

こうした問題意識に立って、本稿の目的は、世帯類型ごとに消費構造の差異を明らかにすることである。具体的には、本研究は、就業を所与とした場合に世帯主と配偶者の所得の構成が双方の選好に関わる費目の消費支出に与える影響について明らかにすることを指向している。本稿は、全国消費実態調査のマイクロデータを用いて、配偶者の就業形態の違いに着目し、正規就業・非正規就業・非就業の別で類型化を行う。その上で、世帯主と配偶者の選好に関わる消費支出の10大費目におけるより詳細な分類に焦点を当てて、世帯主と配偶者の所得の構成が消費支出に与える影響を細密に追究する。

## 2. 先行研究と本研究のねらい

本稿では、配偶者の就業形態の違いに着目し、世帯主と配偶者の所得の構成が影響を与える詳細な消費支出の費目に関する変化の方向について計量分析を行う。世帯構成員の所得の比率に応じて、消費にどのような影響を与えるかを検証したわが国における先行研究としては、例えば、Hayashi (1995)、小原 (2008)、澤田 (2008)、坂本 (2008) 等がある<sup>1)</sup>。これらの先行研究では、世帯員の中で所得の高い者ほど交渉力が高くなり、その効用を高めるような財の支出の構成が大きくなる傾向を示していることが実証的に明らかにされている。こうした先行研究からは、配偶者の稼得所得が増大するにしたがって、配偶者の好む財への支出が相対的に高まることが予想される。それに対して、配偶者の稼得所得の増加によって労働時間がより長くなった場合、家事時間（家計内生産時間）を節約する誘因が強くなるため、時間節約的な財の購入が増大する影響も考えられる。とりわけ、世帯主と配偶者の選好に関わる費目については、その特徴が顕在化する可能性がある。具体的には、世帯主と配偶者の選好が異なる費目、例えば妻の衣服や子どもの経費のように配偶者の選好に関わる費目については、世帯の所得全体に占める配偶者の所得の比率が上昇すると、それらの支出が拡大することが考えられる。

以上の先行研究およびそこから導き出される仮説を踏まえて、Ito and Dejima (2020) は、全国消費実態調査の調査票情報（個票データ）を用いて、配偶者の就業行動の差が消費支出の十大費目に及ぼす影響を実証的に明らかにした。具体的には、配偶者の就業形態をもとに共働き世帯と片働き世帯に類型化した上で、世帯人員や家計資産をコントロール変数としたモデルにおいて、世帯主と配偶者の所得の構成が変化した場合に、消費支出の10大費目にどういった変化をもたらされるかを追究した。例えば、食料費については、配偶者が就業していて、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率が高いほど、消費支出に占める食料費の割合が低下する傾向にあることが明らかになった。これについては、夫婦共働きの世帯では、家事の時間短縮のために、外食や中食を行うといった時間節約的な財の購入が、結果的に食料費の相対的な減少をもたらしたことが推測される。また、被服・履物費に関しては、勤め先からの年間収入に占める配偶者の収入の比率が上昇するにしたがって、その消費の割合が増大していることから、配偶者の所得が増大するにつれて、配偶者の家計内交渉力が大きくなることが確認できる。

本研究では、Ito and Dejima (2020) における先行研究を踏まえながらも、全国消費実態調査で把握される10大費目の中で、中分類や小分類のようなより詳細な区分の費目に関する消費支出に

---

1) 世帯主と配偶者の所得の構成が消費支出に与える影響について、近年のサーベイを行った先行研究としては、例えば大森 (2010) を参照。

着目し、世帯主と配偶者の双方の選好が異なる費目も細分化した上で、世帯主と配偶者の所得の構成がそれらの詳細な費目に及ぼす影響を事実発見的に明らかにする。

なお、本研究から明らかになった結論は、以下のように要約される。第1に、家事用消耗品費の場合、配偶者が正規就業かパート・アルバイト就業において、家事用消耗品費に対してマイナスに有意の結果が得られている。第2に、女性用被服費では、配偶者が正規就業である場合に、その支出が増大する傾向にある。第3に、配偶者の就業のタイプで世帯を類別した場合でも、家事用消耗品のような費目については、配偶者の勤め先収入の年間収入に対する比率に関する回帰係数が、マイナスで有意な値になっている。第4に、末子の年齢が上がるにつれて、家賃や月謝類のように末子の年齢がマイナスの影響をもたらす費目と、男性用被服費やこづかいのようにプラスの影響が見られる費目が存在する。第5に、電気・ガス・上下水道代に関しては、財産収入、貯蓄現在高のような家計資産や資産所得における回帰係数がマイナスに有意になっている。

### 3. 使用するデータ

本研究で使用するデータは、2009年の全国消費実態調査の調査票情報（個票データ）である。全国消費実態調査は、5年に1回実施される周期調査として位置付けられる。この調査は、家計の消費や所得、さらには資産の詳細な情報を把握するために、家計に年単位の所得と資産・負債情報と3か月間の家計簿を回答させたものであり、調査対象世帯が約57000世帯（単身世帯を含む）である家計に対する国内最大規模の統計調査である。家計の消費、所得と資産の実態を把握する統計調査については、調査客体に対して家計簿情報を6か月継続して調査する、月次の経常調査としての家計調査があるが、家計調査の場合、調査対象世帯が約9000世帯であることから、全国消費実態調査のほうが、詳細な地域区分や社会人口的属性について類別されたグループによる細密な分析を行うことが可能である。

さらに、全国消費実態調査が本研究にとって有用なのは、世帯員各人について、就業・非就業および求職中か否かの区別、勤労所得と勤め先企業の産業や職業に関する属性も把握されているだけでなく、家計資産および資産所得等の情報が捕捉されていることである。この点については、全国消費実態調査において就業に関する属性が捉えられることに着目し、リスク資産や実物資産（不動産等）といった家計資産が就業選択に及ぼす影響をマイクロデータで分析した研究として、例えば伊藤他（2019）を指摘することができる。

全国消費実態調査では、10大費目だけでなく、より詳細な分類区分で消費支出を細密に把握することが可能である。この点に注目した上で、本研究では、就業状況をコントロールした場合の所得の構成と消費支出の関係を精密に分析することを指向している。

なお、本分析では、全国消費実態調査において標本設計が異なる単身世帯は除外されている。

その上で、世帯主、世帯主の配偶者と子どもがいる勤労者世帯を対象とした。また、世帯主が20～59歳の年齢階層であり、末子の年齢が25歳以下に該当する世帯を本分析での対象としている。

#### 4. 世帯類型から見た所得の構成と消費支出の詳細費目に関するモデル

本研究においては、2009年の全国消費実態調査の個票データをもとに、世帯主と配偶者の所得の構成と消費支出の詳細費目との関係について実証的に明らかにする。本研究では、Ito and Deji-ma (2020) での分析の枠組みを踏まえて、最初に世帯主と配偶者の就業形態（正規就業・非正規就業・非就業）の組み合わせで、世帯類型別のサブグループを編成する。これらの類型化されたグループに関して、本研究では、家計消費の10大費目の中の詳細費目として、中分類費目あるいは小分類費目を対象に、世帯類型と消費構造との関係に関する計量分析を行う。具体的には、以下のモデルについて分析を行った。

消費支出に対する詳細費目の比率 =  $f$  (配偶者の正規就業ダミー, 配偶者のパート・アルバイト就業ダミー, 配偶者の派遣労働ダミー, 配偶者のその他就業ダミー, 持ち家の有無ダミー, 性別ダミー, 世帯主の年齢 (各歳), 世帯主の年齢の2乗, (世帯の勤め先からの) 年間収入 (対数), 配偶者の年間収入の比率, 65歳未満の世帯員における年間収入の比率, 財産収入 (対数), 貯蓄現在高 (対数), 負債現在高 (対数), 住宅・宅地資産額 (対数), 大都市圏ダミー, 末子の年齢ダミー)

本モデルにおいては、被説明変数として、消費支出に対する10大費目の中の詳細費目の各比率を用いている。本研究では、世帯主と配偶者の選好に関わる中分類あるいは小分類の費目として、家賃、電気代、ガス代、上下水道料、家事用消耗品費、家事サービス代、男性用被服費、女性用被服費、交通費、自動車等維持費、ガソリン代、通信費、宿泊料、月謝類、理美容サービス代、こづかい、交際費、仕送り金を選定し、消費支出に対する各費目の比率を算出した<sup>2)</sup>。つぎに、これらの比率を対象に、夫婦が共働きか片働きかによって世帯を類別した上で、重回帰分析

---

2) 分析の対象となった費目において、消費支出の10大費目の中の小分類に該当するのは、家賃（家賃地代の小分類）、ガソリン代（自動車等維持費の小分類）、宿泊料（教養娯楽サービスの小分類）、理美容サービス代（諸雑費の小分類）である。また、本研究における男性用被服費とは、男子用洋服、男子用シャツ・セーター類と男子用下着類の費目に関する消費支出の総額、女性用被服費とは、婦人用洋服、婦人用シャツ・セーター類と婦人用下着類の費目についての消費支出の総額としてそれぞれ定義される。

を行った。具体的には、本分析の対象となる世帯全体（以下「全世帯」）を対象にした分析だけでなく、①世帯主が正規就業者で配偶者が正規就業者、②世帯主が正規就業者で配偶者が非正規就業者、③世帯主が正規就業者で配偶者が無業<sup>3)</sup>のそれぞれのサブグループを対象に、費目の構成に与える世帯属性、さらには家計の所得や資産の影響を実証的に明らかにした。

モデルの説明変数については、配偶者の就業形態を考慮するために、正規就業ダミー、パート・アルバイト就業ダミー、派遣労働ダミー、および契約社員を含むその他の就業ダミーの4つのダミー変数をモデルに設定した。なお、配偶者が無業である場合を1とし、それ以外を0とする「配偶者の無業ダミー」がリファレンス・グループとなっている。世帯主の就業状況については、Ito and Dejima (2016) 等の先行研究における就業の区分も勘案した上で、(1) 会社などの役員、(2) 自営業者、(3) 家族従業者、(4) 内職を除く、就業者のみを選定している。また、実物資産に関しては分布の右側の裾野が大きいことを考慮し、本分析では平均値+3 $\sigma$ を超えるレコードが削除されている。

持ち家の有無、性別と末子の年齢はいずれも、ダミー変数として組み込まれている。持ち家の有無ダミー、性別ダミーと末子の年齢ダミーにおけるリファレンス・グループに関しては、「持ち家無し」、「女性」と「0～5歳」がそれぞれ対応している。末子の年齢に関しては、小学校、中学校、高校、大学の学校の区分に応じて、6～12歳、13～15歳、16～18歳および19歳以上のダミー変数がそれぞれ設定されている。

本モデルでは、年齢だけでなく年齢の2乗項も、説明変数として導入されている。世帯における勤め先からの年間収入、貯蓄現在高、負債現在高および住宅・宅地資産額といった家計の収入・資産に関する量的属性については、属性値が0円となるレコードが存在する。このことを勘案し、本モデルで説明変数として設定されている量的属性は、すべての属性値に1を加えた上で自然対数に置き換えられている。

本分析では、世帯主と配偶者における所得の構成を考慮するために、配偶者の年間収入の比率がモデルに含まれる。具体的には、世帯の勤め先からの年間収入に対する配偶者の年間の勤め先収入の比率が設定される。この比率が高くなると、世帯の中での配偶者の交渉力が高くなり、効用を高めるような財の購入が多くなる傾向にあることが期待できる。同様に、同居する子どもの勤め先収入に関する比率の代理指標として、65歳未満の世帯員における年間収入の比率も組み込まれている。この比率は、具体的には、世帯主の年間の勤め先収入と世帯主の配偶者の年間の勤め先収入、およびそれらを除く65歳未満の世帯員の年間の勤め先収入を用いることによって、以

---

3) 本研究で対象にしている「配偶者の無業」は、調査期間において配偶者が非就業であることを意味している。この調査期間外に就労している者も含まれている。このことは、無業であっても当該年次に年間の勤め先収入が発生している可能性があることを示唆している。

下の式で算出されている。

$$\frac{65歳未満の世帯員における年間収入の比率}{65歳未満の世帯員の年間の勤め先収入} = \frac{65歳未満の世帯員の年間の勤め先収入}{世帯主の年間の勤め先収入 + 世帯主の配偶者の年間の勤め先収入}$$

これによって、世帯の年間収入に占める同居する子どもの所得の比率の変化に対して、費目ごとに見た消費のパターンがどのように異なるかを把握することが指向されている。

なお、地域特性に関する変数については、関東大都市圏、中京大都市圏、近畿大都市圏と北九州・福岡大都市圏を含む大都市圏とそれ以外の町村における消費構造の相違を検証するために、上記の4大都市圏のいずれかに該当する場合に1とし、それ以外の地域に該当すれば0とする大都市圏ダミーをモデルに設定している。

## 5. 推定結果と解釈

2009年調査によって推定された全世帯における回帰分析の結果は、表1-1～表1-18で示されている。つぎに、世帯主が正規就業者で、配偶者が正規就業、非正規就業と無業に関する分析結果が、付表1-1～付表1-18において示されている。なお、全世帯および世帯類型別のモデルの説明変数に関する基本統計量はそれぞれ、表2と付表2で示されている。本分析の結果から得られる知見は、以下のとおりである。

第1の知見は、配偶者の就業状況と家計の消費支出の費目の中で配偶者の選好に関わる詳細費目との関係についてである。全世帯における分析結果を見ると、家事用消耗品費の場合、配偶者が正規就業かパート・アルバイト就業において、家事用消耗品費に対してマイナスに1%有意の結果が得られている。このことから、夫婦共働きの場合、片働き世帯の場合と比較して、家事時間が短縮していることが見て取ることができるため、家事用消耗品への購入が減少している可能性がある。

つぎに、女性用被服費については、全世帯において女性が正規就業である場合に、女性用被服費が増大する傾向にあることが興味深い。このことは、夫婦共働きの場合、夫婦片働きと比較して、勤務の必要性に応じて衣服を購入している可能性を示唆している。さらに、配偶者の就業形態や末子の年齢をコントロールした場合でも、世帯の年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率が高いほど、消費支出に占める女性用被服の消費の割合が増加する傾向にあることがわかった。したがって、夫婦共働きの世帯では、配偶者の稼得所得が高くなるにつれて配偶者の家計内交渉力が高くなり、その効用を高めるような財として、女性用被服への支出が高まっていることが確認できる。

表1-1 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 家賃

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0032	0.0023	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0012	0.0013	
配偶者の派遣労働ダミー	0.0007	0.0048	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0016	0.0045	
持ち家の有無ダミー	-0.1422	0.0032	***
性別ダミー	-0.0033	0.0048	
世帯主の年齢	-0.0046	0.0006	***
世帯主の年齢の2乗	0.0001	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0037	0.0009	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0030	0.0047	
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0035	0.0043	
財産収入(対数)	-0.0003	0.0003	
貯蓄現在高(対数)	-0.0015	0.0003	***
負債現在高(対数)	-0.0004	0.0002	**
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0025	0.0004	***
大都市圏ダミー	0.0101	0.0009	***
末子の年齢〈0～5歳〉			
6～12歳	-0.0014	0.0013	
13～15歳	-0.0010	0.0019	
16～18歳	-0.0027	0.0022	
19歳以上	-0.0022	0.0025	
定数	0.2989	0.0137	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.676		
F	1,385.894		
N	13,251		

注) \*\*\*: 1%有意, \*\*: 5%有意, \*: 10%有意, 〈〉はリファレンス・グループである(以下同様).

表1-2 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 電気代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0003	0.0007	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0009	0.0004	**
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0020	0.0015	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0041	0.0014	***
持ち家の有無ダミー	0.0103	0.0010	***
性別ダミー	-0.0028	0.0015	*
世帯主の年齢	0.0004	0.0002	**
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0031	0.0003	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0069	0.0014	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0025	0.0013	***
財産収入(対数)	-0.0005	0.0001	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0016	0.0001	***
負債現在高(対数)	0.0003	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0001	0.0001	
大都市圏ダミー	-0.0041	0.0003	***
末子の年齢〈0～5歳〉			
6～12歳	0.0027	0.0004	***
13～15歳	0.0006	0.0006	
16～18歳	-0.0017	0.0007	***
19歳以上	0.0017	0.0008	***
定数	0.0503	0.0042	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.148		
F	116.396		
N	13,251		

表1-3 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, ガス代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0004	0.0005	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0006	0.0003	*
配偶者の派遣労働ダミー	0.0012	0.0011	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0010	0.0011	
持ち家の有無ダミー	-0.0003	0.0008	
性別ダミー	0.0006	0.0011	
世帯主の年齢	-0.0005	0.0001	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0024	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0056	0.0011	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0019	0.0010	*
財産収入(対数)	-0.0004	0.0001	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0009	0.0001	***
負債現在高(対数)	-0.0002	0.0000	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0007	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0010	0.0002	***
末子の年齢<0~5歳>			
6~12歳	0.0022	0.0003	***
13~15歳	0.0016	0.0005	***
16~18歳	0.0006	0.0005	
19歳以上	0.0010	0.0006	
定数	0.0494	0.0032	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.113		
F	85.781		
N	13,251		

表1-4 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 上下水道代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0005	0.0006	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0006	0.0003	*
配偶者の派遣労働ダミー	0.0021	0.0013	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0017	0.0012	
持ち家の有無ダミー	0.0055	0.0009	***
性別ダミー	0.0010	0.0013	
世帯主の年齢	0.0004	0.0002	**
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	*
年間収入(対数)	-0.0030	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0090	0.0013	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0034	0.0012	***
財産収入(対数)	-0.0005	0.0001	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0010	0.0001	***
負債現在高(対数)	0.0001	0.0000	**
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0003	0.0001	**
大都市圏ダミー	-0.0019	0.0003	***
末子の年齢<0~5歳>			
6~12歳	0.0023	0.0004	***
13~15歳	0.0016	0.0005	***
16~18歳	-0.0007	0.0006	
19歳以上	0.0007	0.0007	
定数	0.0340	0.0038	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.061		
F	43.866		
N	13,251		



表1-5 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 家事用消耗品費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0006	0.0002	***
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0005	0.0001	***
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0005	0.0005	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0010	0.0005	**
持ち家の有無ダミー	0.0016	0.0003	***
性別ダミー	0.0005	0.0005	
世帯主の年齢	0.0000	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	-0.0007	0.0001	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0027	0.0005	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0009	0.0004	**
財産収入(対数)	-0.0001	0.0000	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0003	0.0000	***
負債現在高(対数)	0.0001	0.0000	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0000	**
大都市圏ダミー	-0.0007	0.0001	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0003	0.0001	**
13~15歳	-0.0004	0.0002	**
16~18歳	-0.0008	0.0002	***
19歳以上	0.0000	0.0003	
定数	0.0147	0.0014	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.053		
F	38.412		
N	13,251		

表1-6 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 家事サービス代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0001	0.0003	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0000	0.0002	
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0002	0.0006	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0005	0.0006	
持ち家の有無ダミー	0.0022	0.0004	***
性別ダミー	-0.0005	0.0006	
世帯主の年齢	0.0001	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	-0.0001	0.0001	
配偶者の年間収入の比率	0.0004	0.0006	
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0004	0.0006	
財産収入(対数)	0.0000	0.0000	
貯蓄現在高(対数)	0.0000	0.0000	
負債現在高(対数)	0.0001	0.0000	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0001	**
大都市圏ダミー	-0.0012	0.0001	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0002	0.0002	
13~15歳	-0.0003	0.0002	
16~18歳	-0.0002	0.0003	
19歳以上	0.0005	0.0003	
定数	0.0004	0.0018	
Adj. R <sup>2</sup>	0.023		
F	16.537		
N	13,251		

表1-7 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 男性用被服費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0016	0.0006	**
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0014	0.0003	***
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0007	0.0013	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0011	0.0012	
持ち家の有無ダミー	-0.0012	0.0009	
性別ダミー	0.0010	0.0013	
世帯主の年齢	-0.0001	0.0002	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0012	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	0.0032	0.0013	**
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0004	0.0012	
財産収入(対数)	0.0002	0.0001	**
貯蓄現在高(対数)	0.0002	0.0001	**
負債現在高(対数)	-0.0001	0.0000	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0003	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0008	0.0003	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0013	0.0004	***
13~15歳	0.0048	0.0005	***
16~18歳	0.0042	0.0006	***
19歳以上	0.0044	0.0007	***
定数	0.0007	0.0037	
Adj. R <sup>2</sup>	0.017		
F	12.332		
N	13,251		

表1-8 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 女性用被服費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0014	0.0007	*
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0005	0.0004	
配偶者の派遣労働ダミー	0.0020	0.0015	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0008	0.0014	
持ち家の有無ダミー	-0.0021	0.0010	**
性別ダミー	-0.0037	0.0015	**
世帯主の年齢	-0.0007	0.0002	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0021	0.0003	***
配偶者の年間収入の比率	0.0034	0.0015	**
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0008	0.0014	
財産収入(対数)	0.0000	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	0.0003	0.0001	***
負債現在高(対数)	-0.0002	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0007	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0016	0.0003	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0022	0.0004	***
13~15歳	0.0059	0.0006	***
16~18歳	0.0045	0.0007	***
19歳以上	0.0045	0.0008	***
定数	0.0147	0.0043	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.035		
F	25.273		
N	13,251		

表1-9 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 交通費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0035	0.0014	**
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0021	0.0007	***
配偶者の派遣労働ダミー	0.0023	0.0028	
配偶者のその他就業ダミー	0.0000	0.0027	
持ち家の有無ダミー	-0.0026	0.0019	
性別ダミー	0.0015	0.0029	
世帯主の年齢	-0.0003	0.0004	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0028	0.0005	***
配偶者の年間収入の比率	0.0018	0.0028	
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0052	0.0026	**
財産収入(対数)	0.0004	0.0002	**
貯蓄現在高(対数)	0.0014	0.0002	**
負債現在高(対数)	0.0001	0.0001	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0004	0.0003	
大都市圏ダミー	0.0128	0.0006	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	-0.0001	0.0008	
13~15歳	0.0071	0.0012	***
16~18歳	0.0099	0.0013	***
19歳以上	0.0074	0.0015	***
定数	-0.0136	0.0081	*
Adj. R <sup>2</sup>	0.079		
F	57.697		
N	13,251		

表1-10 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 自動車等維持費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0050	0.0023	**
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0041	0.0012	***
配偶者の派遣労働ダミー	0.0107	0.0048	**
配偶者のその他就業ダミー	0.0081	0.0045	*
持ち家の有無ダミー	0.0185	0.0032	***
性別ダミー	0.0026	0.0048	
世帯主の年齢	-0.0012	0.0006	**
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	-0.0035	0.0009	***
配偶者の年間収入の比率	0.0031	0.0047	
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0021	0.0043	
財産収入(対数)	0.0004	0.0003	
貯蓄現在高(対数)	0.0003	0.0003	
負債現在高(対数)	0.0001	0.0002	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0018	0.0004	***
大都市圏ダミー	-0.0141	0.0009	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	-0.0047	0.0013	***
13~15歳	-0.0072	0.0019	***
16~18歳	-0.0094	0.0022	***
19歳以上	0.0020	0.0025	
定数	0.1206	0.0137	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.038		
F	27.367		
N	13,251		

表1-11 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, ガソリン代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0031	0.0011	***
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0030	0.0006	***
配偶者の派遣労働ダミー	0.0058	0.0023	**
配偶者のその他就業ダミー	0.0049	0.0022	**
持ち家の有無ダミー	0.0127	0.0016	***
性別ダミー	-0.0015	0.0023	
世帯主の年齢	-0.0002	0.0003	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	-0.0021	0.0004	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0002	0.0023	
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0003	0.0021	
財産収入(対数)	-0.0001	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	-0.0007	0.0001	***
負債現在高(対数)	0.0001	0.0001	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0008	0.0002	***
大都市圏ダミー	-0.0147	0.0005	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	-0.0008	0.0007	
13~15歳	-0.0025	0.0009	***
16~18歳	-0.0061	0.0011	***
19歳以上	-0.0008	0.0012	
定数	0.0596	0.0067	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.109		
F	82.156		
N	13,251		

表1-12 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 通信費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0057	0.0015	***
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0040	0.0008	***
配偶者の派遣労働ダミー	0.0021	0.0030	
配偶者のその他就業ダミー	0.0000	0.0028	
持ち家の有無ダミー	0.0117	0.0020	***
性別ダミー	0.0022	0.0030	
世帯主の年齢	-0.0029	0.0004	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0063	0.0006	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0139	0.0029	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0045	0.0027	*
財産収入(対数)	-0.0010	0.0002	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0043	0.0002	***
負債現在高(対数)	0.0004	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0013	0.0003	***
大都市圏ダミー	-0.0050	0.0006	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0070	0.0008	***
13~15歳	0.0158	0.0012	***
16~18歳	0.0190	0.0014	***
19歳以上	0.0133	0.0016	***
定数	0.1918	0.0087	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.123		
F	93.492		
N	13,251		

表1-13 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 宿泊料

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0004	0.0005	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0008	0.0003	***
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0013	0.0011	
配偶者のその他就業ダミー	0.0012	0.0011	
持ち家の有無ダミー	-0.0013	0.0007	
性別ダミー	-0.0011	0.0011	
世帯主の年齢	0.0001	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0011	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	0.0025	0.0011	**
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0020	0.0010	**
財産収入(対数)	0.0001	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	0.0004	0.0001	***
負債現在高(対数)	-0.0001	0.0000	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0003	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0007	0.0002	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	-0.0019	0.0003	***
13~15歳	-0.0027	0.0005	***
16~18歳	-0.0023	0.0005	***
19歳以上	-0.0009	0.0006	
定数	-0.0067	0.0032	**
Adj. R <sup>2</sup>	0.019		
F	13.534		
N	13,251		

表1-14 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 月謝類

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0063	0.0012	***
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0019	0.0007	***
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0035	0.0025	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0044	0.0023	*
持ち家の有無ダミー	0.0015	0.0017	*
性別ダミー	-0.0001	0.0025	
世帯主の年齢	0.0042	0.0003	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0021	0.0005	***
配偶者の年間収入の比率	0.0058	0.0024	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0006	0.0023	**
財産収入(対数)	0.0000	0.0002	
貯蓄現在高(対数)	0.0009	0.0001	***
負債現在高(対数)	-0.0002	0.0001	**
住宅・宅地資産額(対数)	0.0010	0.0002	**
大都市圏ダミー	0.0037	0.0005	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0059	0.0007	***
13~15歳	-0.0159	0.0010	***
16~18歳	-0.0180	0.0012	***
19歳以上	-0.0190	0.0013	***
定数	-0.0965	0.0071	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.137		
F	106.605		
N	13,251		

表1-15 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 理美容サービス代

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0003	0.0004	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0004	0.0002	*
配偶者の派遣労働ダミー	0.0015	0.0008	*
配偶者のその他就業ダミー	-0.0004	0.0008	
持ち家の有無ダミー	-0.0009	0.0005	*
性別ダミー	-0.0020	0.0008	**
世帯主の年齢	0.0000	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0008	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	0.0018	0.0008	**
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0007	0.0007	
財産収入(対数)	0.0001	0.0001	**
貯蓄現在高(対数)	0.0003	0.0000	***
負債現在高(対数)	0.0000	0.0000	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0003	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0003	0.0002	*
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0003	0.0002	
13~15歳	-0.0004	0.0003	
16~18歳	-0.0003	0.0004	
19歳以上	0.0005	0.0004	
定数	0.0026	0.0023	
Adj. R <sup>2</sup>	0.016		
F	11.875		
N	13,251		

表1-16 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, こづかい

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	-0.0034	0.0031	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.0028	0.0017	
配偶者の派遣労働ダミー	0.0023	0.0065	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0074	0.0061	
持ち家の有無ダミー	0.0121	0.0043	***
性別ダミー	0.0303	0.0065	***
世帯主の年齢	-0.0009	0.0008	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0049	0.0012	
配偶者の年間収入の比率	-0.0175	0.0063	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0439	0.0059	***
財産収入(対数)	-0.0011	0.0004	***
貯蓄現在高(対数)	0.0017	0.0004	***
負債現在高(対数)	0.0000	0.0002	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0011	0.0006	*
大都市圏ダミー	0.0022	0.0013	*
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0070	0.0018	***
13~15歳	0.0114	0.0026	***
16~18歳	0.0193	0.0030	***
19歳以上	0.0292	0.0034	***
定数	0.0012	0.0186	
Adj. R <sup>2</sup>	0.040		
F	28.578		
N	13,251		

表1-17 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 交際費

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0005	0.0019	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0049	0.0010	***
配偶者の派遣労働ダミー	-0.0060	0.0039	
配偶者のその他就業ダミー	-0.0047	0.0036	
持ち家の有無ダミー	0.0023	0.0026	
性別ダミー	0.0031	0.0039	
世帯主の年齢	-0.0045	0.0005	***
世帯主の年齢の2乗	0.0001	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0057	0.0007	***
配偶者の年間収入の比率	0.0210	0.0038	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0061	0.0035	*
財産収入(対数)	0.0003	0.0002	
貯蓄現在高(対数)	0.0020	0.0002	***
負債現在高(対数)	0.0005	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0005	0.0004	
大都市圏ダミー	-0.0007	0.0008	
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	-0.0062	0.0011	***
13~15歳	-0.0108	0.0016	***
16~18歳	-0.0104	0.0018	***
19歳以上	0.0025	0.0020	
定数	0.0823	0.0111	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.052		
F	37.107		
N	13,251		

表1-18 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 仕送り金

説明変数	係数	標準誤差	有意性
配偶者の正規就業ダミー	0.0029	0.0029	
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	-0.0016	0.0016	
配偶者の派遣労働ダミー	0.0002	0.0060	
配偶者のその他就業ダミー	0.0106	0.0056	*
持ち家の有無ダミー	0.0094	0.0040	**
性別ダミー	0.0078	0.0060	
世帯主の年齢	-0.0019	0.0008	**
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0053	0.0011	***
配偶者の年間収入の比率	0.0168	0.0058	***
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	-0.0228	0.0054	***
財産収入(対数)	0.0012	0.0004	***
貯蓄現在高(対数)	0.0009	0.0003	***
負債現在高(対数)	-0.0008	0.0002	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0002	0.0005	
大都市圏ダミー	-0.0138	0.0012	***
末子の年齢(0~5歳)			
6~12歳	0.0011	0.0017	
13~15歳	0.0160	0.0024	***
16~18歳	0.0425	0.0028	***
19歳以上	0.0236	0.0031	***
定数	-0.0126	0.0170	
Adj. R <sup>2</sup>	0.093		
F	68.980		
N	13,251		

表2 基本統計量, 全世帯, 2009年

変数	平均値	標準偏差	度数
消費支出に対する家賃の比率	0.0498	0.0928	13,251
消費支出に対する電気代の比率	0.0301	0.0174	13,251
消費支出に対するガス代の比率	0.0159	0.0132	13,251
消費支出に対する上下水道代の比率	0.0197	0.0149	13,251
消費支出に対する家事用消耗品の比率	0.0083	0.0055	13,251
消費支出に対する家事サービス代の比率	0.0023	0.0068	13,251
消費支出に対する男性用被服費の比率	0.0085	0.0143	13,251
消費支出に対する女性用被服費の比率	0.0131	0.0169	13,251
消費支出に対する交通費の比率	0.0181	0.0325	13,251
消費支出に対する自動車等維持費の比率	0.0643	0.0535	13,251
消費支出に対するガソリン代の比率	0.0294	0.0272	13,251
消費支出に対する通信費の比率	0.0600	0.0355	13,251
消費支出に対する宿泊料の比率	0.0034	0.0125	13,251
消費支出に対する月謝類の比率	0.0177	0.0296	13,251
消費支出に対する理美容サービス代の比率	0.0070	0.0091	13,251
消費支出に対するこづかいの比率	0.0622	0.0728	13,251
消費支出に対する交際費の比率	0.0440	0.0436	13,251
消費支出に対する仕送り金の比率	0.0146	0.0687	13,251
配偶者の正規就業ダミー	0.1530	0.3600	13,251
配偶者のパート・アルバイト就業ダミー	0.3329	0.4713	13,251
配偶者の派遣労働ダミー	0.0097	0.0982	13,251
配偶者のその他就業ダミー	0.0112	0.1051	13,251
持ち家の有無ダミー	0.7059	0.4557	13,251
性別ダミー	0.9903	0.0978	13,251
世帯主の年齢	42.0006	7.9732	13,251
世帯主の年齢の2乗	1,827.6184	676.6826	13,251
年間収入(対数)	6.3927	0.6725	13,251
配偶者の年間収入の比率	0.1250	0.1715	13,251
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0272	0.1186	13,251
財産収入(対数)	0.3051	1.5563	13,251
貯蓄現在高(対数)	5.8534	1.8201	13,251
負債現在高(対数)	3.6102	3.6345	13,251
住宅・宅地資産額(対数)	5.4703	3.4074	13,251
大都市圏ダミー	0.4924	0.5000	13,251
6~12歳ダミー	0.2525	0.4345	13,251
13~15歳ダミー	0.1027	0.3036	13,251
16~18歳ダミー	0.0872	0.2821	13,251
19歳以上ダミー	0.0982	0.2976	13,251



それに対して、男性用被服の場合、配偶者の正規就業ダミーおよびパート・アルバイト就業ダミーでは、マイナスに有意になっているものの、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率はプラスに有意になっている。このことから、配偶者の所得が増大する場合に、男性用の衣服についても購入を増やす可能性があることが確認できる。これに関しては、男性用被服が上級財である場合に、通常の所得効果を観察していると見て取ることもできる。

その他の消費支出について見ていくと、こづかいについては、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率がマイナスに有意になっている。これに関しては、共働き世帯において世帯員ごとに効用最大化が図られていること、すなわち家計の個計化を指摘することができる。さらに、仕送り金に関しては、配偶者の就業状況についてその他の就業ダミーにおけるパラメータを除けば、全般的に有意な傾向は確認されなかったが、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率がプラスに有意になっている。仕送り金のような子どもの経費に対する支出については、配偶者にとっての効用が相対的に高くなる費目であるため、配偶者の所得の比率の上昇が、消費支出に占める仕送り金の割合を増大させることが本分析結果から確認される。

第2の知見は、配偶者の就業のタイプで世帯を類型化した場合に、家計の所得に占める配偶者の所得の比率が消費支出に及ぼす影響についてである。例えば、電気代、ガス代や上下水道代を見ると、配偶者の就業形態にかかわらず、配偶者の勤め先収入の年間収入に対する比率については、概ねマイナスに有意な結果が得られている。このことから、共働き世帯、片働きの世帯のいずれについても、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率が高いほど、配偶者における在宅時間が短くなる傾向にあることが考えられ、その結果として、消費支出に占める電気、ガスあるいは水道のような費目の割合が低下する傾向にあることがわかる。

同様の傾向は、家事用消耗品費についても見て取ることができる。すなわち、配偶者の勤め先収入の年間収入に対する比率においては、配偶者の就業の違いにかかわらず、共働き世帯と片働き世帯のいずれについても、マイナスで有意な値が得られていることがわかる。したがって、年間収入に占める配偶者の勤め先収入の比率の高さは、家事時間（家計内生産時間）の有意な減少をもたらしており、それが家事用消耗品の支出に対する比率の低下を招いていることがわかる。なお、配偶者が無業者である場合に回帰係数がマイナスで有意になっていることについては、配偶者が調査月以外において就業していて勤め先収入を得ていることが考えられる。

つぎに、男性用被服費と女性用被服費に着目すると、配偶者が無業である場合、配偶者の勤め先収入の年間収入に対する比率に関しては、プラスに有意な結果がそれぞれ導かれている。同様に、宿泊料、月謝類、理美容サービス代、交際費および仕送り金に関しても、配偶者が無業の場合にはそれぞれ、配偶者の勤め先収入の年間収入に対する比率においてプラスに有意な値が得られている。このことから、配偶者が無業であっても、調査期間以外において勤め先収入がある等、配偶者の収入が高くなることに伴う世帯主と配偶者の所得の構成の変化によって、配偶者の

選好に関わる消費支出の傾向の強さが観察されることが確認された。

第3の知見は、末子の年齢が消費支出に与える影響についてである。末子の年齢ダミーにおける回帰係数を確認すると、末子の年齢が上がるにしたがって、月謝類のように係数値がマイナスで値が大きくなる費目と、男性用被服費、通信費やこづかいのように係数値がプラスで、かつ傾向的に大きくなる費目があることが興味深い。これは、世帯の年齢構成に応じて効用を高める財の構成が変わることから、家計の消費支出における費目の優先度が異なることを示唆している。

第4の知見は、家計資産や資産所得が消費支出に及ぼす影響についてである。例えば、電気・ガス・上下水道代に関しては、対象となる世帯全体であっても、またいずれの世帯類型においても、財産収入や貯蓄現在高における回帰係数がマイナスに有意な値となっている。すなわち、家計資産や資産所得の増加が、光熱・水道のような費目の消費支出に対する比率にマイナスの影響をもたらしていることが確認される。それに対して、教養娯楽費の一部である宿泊料や月謝類を見ると、片働き世帯と共働き世帯の世帯類型にかかわらず、貯蓄現在高の回帰係数がプラスに有意な値を示していることが興味深い。このことから、教養娯楽費の中の宿泊料や月謝類においては、資産効果が働いている可能性を指摘することができる。

## 6. おわりに

本稿では、全国消費実態調査の個票データを用いて、世帯類型を考慮し、世帯主と配偶者の就業状況をコントロールした場合に、世帯主と配偶者の所得の構成が双方の選好に関わる費目の支出に及ぼす影響に関する実証分析を行った。本分析の結果から、世帯主と配偶者の所得の構成によって、家計における消費支出の費目の構成も変わることが確認された。具体的には、女性用被服費や仕送り金といった費目のように、勤め先からの年間収入に占める配偶者の収入の比率が上がるにつれて、それらの消費の割合が増大していることが明らかになった。このことは、配偶者の選好に関わる消費支出の費目については、配偶者の所得の比率が上昇すると、消費の比率を高める費目があることから、配偶者の所得比率の増大は、家計内の配偶者の交渉力を相対的に拡大させる傾向にあることを示唆している。

なお、本研究では、世帯主と配偶者の比率に着目するために、世帯主、配偶者と子どもがある核家族世帯をモデルケースとして、世帯主の年齢、配偶者の就業形態、末子の年齢および家計の所得・資産の状況を考慮した上で、ミクロデータ分析を行ってきたが、三世帯世帯の場合における世帯主と配偶者の所得の構成さらには家計資産と消費構造の関係については、実証分析を行うことができていない。これらについては、今後の研究課題としたい。

謝辞：本稿は、令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金「外国人労働力を考慮した雇用創出と労働移動の計量経済分析」(基盤研究(C))(研究代表者：中央大学 伊藤伸介)における研究成果の一部を発表するものである。また、本研究において使用した「全国消費実態調査」の調査票情報は、統計法第33条に基づき提供を受けたものであり、本稿で作成した集計表等は提供を受けた調査票情報を独自集計したものである。記して関係各位に御礼申し上げたい。

#### 参考文献

- 伊藤伸介・出島敬久・村田磨理子(2019)「保有不動産・金融資産と就業との関係—全国消費実態調査の宅地単価に着目して—」『日本統計学会誌』第48巻第2号, 77-101頁
- 大森義明(2010)「ワーク・ライフ・バランス研究—経済学的な概念と課題—」『日本労働研究雑誌』No. 599, 10-19頁
- 小原美紀(2008)「家計内交渉と家計の消費変動」チャールズ・ユウジ・ホリオカ, (財)家計経済研究所(編)『世帯内分配と世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房, 48-72頁
- 坂本和靖(2008)「世帯内における消費・余暇配分の構造」チャールズ・ユウジ・ホリオカ, (財)家計経済研究所(編)『世帯内分配と世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房, 21-47頁
- 澤田康幸(2008)「日本における世帯内リスクシェアリングの分析」チャールズ・ユウジ・ホリオカ, (財)家計経済研究所(編)『世帯内分配と世代間移転の経済分析』, ミネルヴァ書房, 73-90頁
- Hayashi, F. (1995) "Is the Japanese Extended Family Altruistically Linked? A Test Based on Engel Curves," *Journal of Political Economy*, Vol. 103, No. 3, pp. 661-674.
- Ito, S. and T. Dejima (2016) "Influence of Non-Labor Income on Youth Unemployment in Japan: Are Youths in Households with Larger Budgets Less Likely to Work?," *the Journal of Economics (Chuo University)*, Vol. 57, No. 1・2, pp. 1-22.
- Ito, S. and T. Dejima (2020) "The Relationship between Household Type and Consumption Patterns in Japan - evidence from Japan's National Survey of Family Income and Expenditure" 一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series A, No. 712, pp. 1-32.

(\*中央大学経済学部教授 博士(経済学))

(\*\*上智大学経済学部教授)

(\*\*\* (公財) 統計情報研究開発センター主任研究員)

付表1-1 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 家賃

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.1508	0.0068	***	-0.1386	0.0048	***	-0.1439	0.0050	***
性別ダミー	-0.0149	0.0078	*	-0.0310	0.0148	**	-0.0029	0.0100	
世帯主の年齢	-0.0023	0.0012	*	-0.0027	0.0010	***	-0.0053	0.0010	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***	0.0001	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0005	0.0014		-0.0008	0.0015		-0.0094	0.0017	***
配偶者の年間収入の比率	0.0053	0.0060		0.0031	0.0073		-0.0197	0.0106	*
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0053	0.0105		-0.0051	0.0052		-0.0047	0.0092	
財産収入(対数)	0.0006	0.0005		-0.0002	0.0004		-0.0006	0.0005	
貯蓄現在高(対数)	0.0003	0.0006		-0.0015	0.0004	***	-0.0019	0.0005	***
負債現在高(対数)	-0.0007	0.0003	**	-0.0004	0.0002		-0.0003	0.0003	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0011	0.0009		-0.0019	0.0007	***	-0.0027	0.0007	***
大都市圏ダミー	0.0051	0.0018	***	0.0100	0.0013	***	0.0120	0.0016	***
末子の年齢〈0～5歳〉									
6～12歳	-0.0028	0.0025		-0.0025	0.0019		-0.0009	0.0023	
13～15歳	-0.0013	0.0034		-0.0028	0.0026		-0.0012	0.0036	
16～18歳	-0.0048	0.0040		-0.0045	0.0029		-0.0025	0.0041	
19歳以上	-0.0043	0.0046		-0.0038	0.0034		-0.0005	0.0046	
定数	0.2234	0.0272	***	0.2604	0.0265	***	0.3505	0.0231	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.754			0.696			0.649		
F	379.187			653.261			737.598		
N	1,979			4,566			6,388		

注) \*\*\*: 1%有意, \*\*: 5%有意, \*: 10%有意, 〈〉はリファレンス・グループである(以下同様)。

付表1-2 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 電気代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0076	0.0028	***	0.0095	0.0017	***	0.0112	0.0013	***
性別ダミー	-0.0006	0.0033		-0.0108	0.0053	**	-0.0058	0.0026	**
世帯主の年齢	0.0007	0.0005		0.0001	0.0003		0.0007	0.0003	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0024	0.0006	***	-0.0034	0.0005	***	-0.0042	0.0005	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0088	0.0025	***	-0.0068	0.0026	**	-0.0130	0.0028	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0089	0.0044	**	0.0033	0.0019	*	0.0001	0.0024	
財産収入(対数)	-0.0004	0.0002	**	-0.0005	0.0002	***	-0.0004	0.0001	***
貯蓄現在高(対数)	-0.0013	0.0002	***	-0.0015	0.0001	***	-0.0016	0.0001	***
負債現在高(対数)	0.0003	0.0001	***	0.0002	0.0001	***	0.0003	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0004	0.0004		0.0002	0.0002		0.0000	0.0002	
大都市圏ダミー	-0.0037	0.0008	***	-0.0044	0.0005	***	-0.0040	0.0004	***
末子の年齢〈0～5歳〉									
6～12歳	0.0031	0.0011	***	0.0032	0.0007	***	0.0022	0.0006	***
13～15歳	-0.0004	0.0014		0.0018	0.0009	*	0.0009	0.0010	
16～18歳	-0.0002	0.0017		-0.0005	0.0011		-0.0030	0.0011	***
19歳以上	0.0010	0.0019		0.0022	0.0012	*	0.0033	0.0012	***
定数	0.0347	0.0114	***	0.0665	0.0096	***	0.0533	0.0061	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.118			0.136			0.166		
F	17.476			45.842			80.627		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-3 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, ガス代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.0003	0.0020		-0.0022	0.0014		0.0004	0.0010	
性別ダミー	0.0007	0.0023		0.0030	0.0043		-0.0013	0.0020	
世帯主の年齢	-0.0004	0.0004		-0.0005	0.0003	*	-0.0005	0.0002	**
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	*	0.0000	0.0000	**
年間収入 (対数)	-0.0013	0.0004	***	-0.0027	0.0004	***	-0.0034	0.0004	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0038	0.0017	**	-0.0032	0.0021		-0.0141	0.0022	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0035	0.0030		0.0047	0.0015	***	0.0017	0.0019	
財産収入 (対数)	-0.0004	0.0002	***	-0.0003	0.0001	***	-0.0003	0.0001	***
貯蓄現在高 (対数)	-0.0010	0.0002	***	-0.0010	0.0001	***	-0.0007	0.0001	***
負債現在高 (対数)	-0.0003	0.0001	***	-0.0001	0.0001	*	-0.0001	0.0001	**
住宅・宅地資産額 (対数)	-0.0008	0.0003	***	-0.0006	0.0002	***	-0.0007	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0021	0.0005	***	0.0014	0.0004	***	0.0003	0.0003	
末子の年齢 (0~5歳)									
6~12歳	0.0024	0.0007	***	0.0029	0.0006	***	0.0017	0.0005	***
13~15歳	0.0015	0.0010		0.0021	0.0008	***	0.0019	0.0007	***
16~18歳	0.0016	0.0012		0.0017	0.0009	**	-0.0007	0.0008	
19歳以上	0.0028	0.0013	**	0.0019	0.0010	**	0.0001	0.0009	
定数	0.0417	0.0079	***	0.0505	0.0077		0.0550	0.0047	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.130			0.110			0.092		
F	19.432			36.424			41.672		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-4 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 上下水道代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0032	0.0024		0.0044	0.0016	***	0.0063	0.0012	***
性別ダミー	0.0020	0.0028		0.0106	0.0049	**	0.0013	0.0024	
世帯主の年齢	0.0005	0.0004		0.0003	0.0003		0.0006	0.0002	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	**
年間収入 (対数)	-0.0019	0.0005	***	-0.0038	0.0005	***	-0.0038	0.0004	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0081	0.0021	***	-0.0103	0.0024	***	-0.0152	0.0025	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0074	0.0038	**	0.0070	0.0017	***	0.0039	0.0022	*
財産収入 (対数)	-0.0003	0.0002	*	-0.0005	0.0001	***	-0.0005	0.0001	***
貯蓄現在高 (対数)	-0.0009	0.0002	***	-0.0007	0.0001	***	-0.0011	0.0001	***
負債現在高 (対数)	0.0000	0.0001		0.0001	0.0001	*	0.0001	0.0001	*
住宅・宅地資産額 (対数)	0.0000	0.0003		-0.0003	0.0002		-0.0004	0.0002	**
大都市圏ダミー	-0.0010	0.0006		-0.0028	0.0004	***	-0.0017	0.0004	***
末子の年齢 (0~5歳)									
6~12歳	0.0030	0.0009	***	0.0023	0.0006	***	0.0020	0.0005	***
13~15歳	0.0013	0.0012		0.0017	0.0009	*	0.0020	0.0009	**
16~18歳	0.0005	0.0014		-0.0007	0.0010		-0.0007	0.0010	
19歳以上	0.0020	0.0016		-0.0001	0.0011		0.0016	0.0011	
定数	0.0245	0.0098	**	0.0300	0.0088	***	0.0336	0.0055	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.041			0.052			0.066		
F	6.290			16.565			29.090		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-5 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 家事用消耗品費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0019	0.0009	**	0.0016	0.0005	***	0.0016	0.0005	***
性別ダミー	-0.0003	0.0010		-0.0006	0.0017		0.0012	0.0009	
世帯主の年齢	0.0001	0.0002		0.0000	0.0001		0.0000	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	-0.0009	0.0002	***	-0.0011	0.0002	***	-0.0005	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0018	0.0008	**	-0.0043	0.0008	***	-0.0026	0.0010	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0003	0.0014		0.0002	0.0006		0.0012	0.0009	
財産収入(対数)	-0.0002	0.0001	**	-0.0001	0.0000	***	0.0000	0.0000	
貯蓄現在高(対数)	-0.0003	0.0001	***	-0.0003	0.0000	***	-0.0004	0.0000	***
負債現在高(対数)	0.0001	0.0000	**	0.0001	0.0000	**	0.0001	0.0000	***
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0001		-0.0002	0.0001	**	-0.0001	0.0001	
大都市圏ダミー	0.0000	0.0002	***	-0.0011	0.0002	***	-0.0007	0.0001	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0003	0.0003		0.0006	0.0002	***	0.0001	0.0002	
13~15歳	-0.0008	0.0004	*	0.0003	0.0003		-0.0009	0.0003	**
16~18歳	-0.0005	0.0005		-0.0003	0.0003		-0.0014	0.0004	***
19歳以上	-0.0002	0.0006		0.0006	0.0004		-0.0006	0.0004	
定数	0.0134	0.0035	***	0.0180	0.0030	***	0.0138	0.0022	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.048			0.046			0.038		
F	7.270			14.892			16.830		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-6 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 家事サービス代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0021	0.0015		0.0020	0.0007	***	0.0022	0.0005	***
性別ダミー	0.0001	0.0017		-0.0045	0.0023	*	-0.0016	0.0010	
世帯主の年齢	0.0004	0.0003		-0.0001	0.0002		0.0001	0.0001	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0004	0.0003		-0.0003	0.0002		-0.0005	0.0002	***
配偶者の年間収入の比率	0.0016	0.0013		-0.0001	0.0011		-0.0006	0.0011	
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0008	0.0023		0.0015	0.0008	*	-0.0008	0.0009	
財産収入(対数)	0.0000	0.0001		0.0001	0.0001		0.0001	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	0.0001	0.0001		0.0000	0.0001		0.0001	0.0000	
負債現在高(対数)	0.0000	0.0001		0.0001	0.0000	***	0.0001	0.0000	**
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0002		-0.0001	0.0001		-0.0001	0.0001	
大都市圏ダミー	-0.0011	0.0004	***	-0.0014	0.0002	***	-0.0011	0.0002	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0004	0.0006		0.0001	0.0003		0.0003	0.0002	
13~15歳	0.0003	0.0007		-0.0004	0.0004		-0.0004	0.0004	
16~18歳	0.0013	0.0009		-0.0001	0.0005		-0.0008	0.0004	*
19歳以上	0.0017	0.0010	*	0.0002	0.0005		0.0003	0.0005	
定数	-0.0095	0.0060		0.0102	0.0041	**	0.0027	0.0024	
Adj. R <sup>2</sup>	0.011			0.022			0.026		
F	2.388			7.543			11.820		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-7 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 男性用被服費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0012	0.0026		-0.0017	0.0014		-0.0016	0.0012	
性別ダミー	0.0029	0.0030		0.0045	0.0043		0.0013	0.0025	
世帯主の年齢	-0.0002	0.0005		0.0004	0.0003		-0.0003	0.0002	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	*	0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0011	0.0005	**	0.0015	0.0004	***	0.0014	0.0004	***
配偶者の年間収入の比率	0.0031	0.0023		-0.0008	0.0022		0.0085	0.0026	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0021	0.0040		0.0002	0.0015		-0.0010	0.0023	
財産収入(対数)	0.0001	0.0002		0.0001	0.0001		0.0002	0.0001	*
貯蓄現在高(対数)	0.0004	0.0002	*	0.0000	0.0001		0.0002	0.0001	
負債現在高(対数)	0.0000	0.0001		0.0000	0.0001		-0.0001	0.0001	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0004		0.0003	0.0002		0.0005	0.0002	***
大都市圏ダミー	0.0017	0.0007	**	0.0007	0.0004	*	0.0005	0.0004	
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0018	0.0010	*	0.0010	0.0006	*	0.0014	0.0006	**
13~15歳	0.0045	0.0013	***	0.0049	0.0008	***	0.0045	0.0009	***
16~18歳	0.0058	0.0015	***	0.0040	0.0009	***	0.0036	0.0010	***
19歳以上	0.0033	0.0018	*	0.0047	0.0010	***	0.0045	0.0011	***
定数	-0.0010	0.0105		-0.0148	0.0078	*	0.0034	0.0057	
Adj. R <sup>2</sup>	0.018			0.024			0.013		
F	3.235			8.035			6.097		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-8 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 女性用被服費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.0037	0.0036		0.0012	0.0017		-0.0034	0.0014	**
性別ダミー	-0.0036	0.0041		-0.0126	0.0051	**	-0.0029	0.0027	
世帯主の年齢	-0.0001	0.0006		0.0000	0.0003		-0.0011	0.0003	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0021	0.0008	***	0.0016	0.0005	***	0.0030	0.0005	***
配偶者の年間収入の比率	0.0067	0.0032	**	0.0005	0.0025		0.0093	0.0029	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0052	0.0056		0.0001	0.0018		0.0012	0.0025	
財産収入(対数)	-0.0002	0.0003		-0.0001	0.0001		0.0001	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	0.0001	0.0003		0.0004	0.0001	***	0.0002	0.0001	
負債現在高(対数)	0.0000	0.0002		-0.0002	0.0001	***	-0.0002	0.0001	***
住宅・宅地資産額(対数)	0.0011	0.0005	**	0.0004	0.0002		0.0009	0.0002	***
大都市圏ダミー	0.0028	0.0010	***	0.0018	0.0005	***	0.0010	0.0004	**
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0012	0.0013		0.0026	0.0007	***	0.0019	0.0006	***
13~15歳	0.0059	0.0018	***	0.0051	0.0009	***	0.0067	0.0010	***
16~18歳	0.0032	0.0021		0.0053	0.0010	***	0.0038	0.0011	***
19歳以上	0.0069	0.0024	***	0.0045	0.0012	***	0.0035	0.0013	***
定数	-0.0001	0.0145		0.0097	0.0091		0.0169	0.0063	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.030			0.035			0.029		
F	4.767			11.331			12.771		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-9 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 交通費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.0008	0.0050		-0.0056	0.0032	*	-0.0020	0.0027	
性別ダミー	-0.0013	0.0057		0.0084	0.0099		0.0051	0.0055	
世帯主の年齢	0.0007	0.0009		-0.0003	0.0007		-0.0003	0.0005	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0011	0.0010		0.0023	0.0010	**	0.0045	0.0009	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0040	0.0044		0.0007	0.0049		0.0096	0.0058	*
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0097	0.0077		-0.0049	0.0035		-0.0024	0.0051	
財産収入(対数)	0.0005	0.0004		0.0006	0.0003	**	0.0003	0.0003	
貯蓄現在高(対数)	0.0007	0.0004	*	0.0014	0.0003	***	0.0015	0.0003	***
負債現在高(対数)	0.0000	0.0002		0.0002	0.0002		0.0000	0.0002	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0007	0.0007		0.0006	0.0004		0.0003	0.0004	
大都市圏ダミー	0.0104	0.0013	***	0.0118	0.0009	***	0.0141	0.0009	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	-0.0015	0.0019		0.0013	0.0013		0.0000	0.0012	
13~15歳	0.0078	0.0025	***	0.0089	0.0018	***	0.0054	0.0020	***
16~18歳	0.0059	0.0029	**	0.0124	0.0020	***	0.0096	0.0023	***
19歳以上	0.0051	0.0034		0.0098	0.0023	***	0.0051	0.0025	**
定数	-0.0201	0.0200		-0.0210	0.0179		-0.0262	0.0127	**
Adj.R <sup>2</sup>	0.068			0.097			0.071		
F	9.980			31.605			31.672		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-10 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 自動車等維持費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0223	0.0098	**	0.0193	0.0056	***	0.0173	0.0043	***
性別ダミー	-0.0037	0.0113		0.0177	0.0171		-0.0045	0.0087	
世帯主の年齢	-0.0037	0.0018	**	-0.0019	0.0011	*	-0.0009	0.0008	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0030	0.0021		0.0014	0.0017		-0.0065	0.0015	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0143	0.0087	*	0.0359	0.0085	***	-0.0048	0.0092	
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0409	0.0152	***	0.0009	0.0061		0.0064	0.0080	
財産収入(対数)	0.0005	0.0008		0.0000	0.0005		0.0007	0.0004	
貯蓄現在高(対数)	-0.0016	0.0008	**	0.0006	0.0005		0.0003	0.0004	
負債現在高(対数)	-0.0003	0.0004		0.0003	0.0003		0.0000	0.0002	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0022	0.0013	*	-0.0014	0.0008	*	-0.0017	0.0006	***
大都市圏ダミー	-0.0128	0.0026	***	-0.0144	0.0016	***	-0.0136	0.0013	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	-0.0052	0.0037		-0.0027	0.0022		-0.0050	0.0020	**
13~15歳	-0.0016	0.0050		-0.0050	0.0030		-0.0113	0.0031	***
16~18歳	-0.0049	0.0058		-0.0095	0.0034	***	-0.0123	0.0036	***
19歳以上	0.0086	0.0066		0.0026	0.0039		-0.0035	0.0040	
定数	0.1641	0.0395	***	0.0886	0.0307	***	0.1370	0.0200	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.033			0.045			0.038		
F	5.216			14.566			16.663		
N	1,979			4,566			6,388		



付表1-11 消費支出の構成に関する回帰分析の結果，世帯類型別，ガンソリン代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0181	0.0051	***	0.0123	0.0028	***	0.0115	0.0020	***
性別ダミー	-0.0061	0.0059		-0.0064	0.0086		-0.0044	0.0041	
世帯主の年齢	-0.0011	0.0009		-0.0002	0.0006		-0.0002	0.0004	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入（対数）	-0.0008	0.0011		0.0007	0.0009		-0.0042	0.0007	***
配偶者の年間収入の比率	0.0004	0.0045		0.0133	0.0043	***	-0.0096	0.0043	**
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0034	0.0079		0.0019	0.0031		-0.0022	0.0037	
財産収入（対数）	0.0002	0.0004		-0.0004	0.0002	*	0.0001	0.0002	
貯蓄現在高（対数）	-0.0010	0.0004	**	-0.0006	0.0002	***	-0.0006	0.0002	***
負債現在高（対数）	0.0002	0.0002		0.0001	0.0001		0.0001	0.0001	
住宅・宅地資産額（対数）	-0.0019	0.0007	***	-0.0006	0.0004		-0.0007	0.0003	**
大都市圏ダミー	-0.0143	0.0014	***	-0.0149	0.0008	***	-0.0144	0.0006	***
末子の年齢（0～5歳）									
6～12歳	0.0029	0.0019		-0.0018	0.0011		-0.0016	0.0009	*
13～15歳	0.0035	0.0026		-0.0034	0.0015	**	-0.0042	0.0015	***
16～18歳	0.0021	0.0030		-0.0088	0.0017	***	-0.0079	0.0017	***
19歳以上	0.0091	0.0034	***	-0.0044	0.0020	**	-0.0016	0.0019	
定数	0.0802	0.0205		0.0482	0.0155	***	0.0732	0.0093	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.073			0.118			0.111		
F	10.748			39.228			50.792		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-12 消費支出の構成に関する回帰分析の結果，世帯類型別，通信費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0180	0.0060	***	0.0115	0.0037	***	0.0094	0.0026	***
性別ダミー	0.0102	0.0069		0.0079	0.0114		-0.0037	0.0053	
世帯主の年齢	-0.0004	0.0011		-0.0032	0.0007	***	-0.0034	0.0005	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***	0.0000	0.0000	***
年間収入（対数）	-0.0058	0.0012	***	-0.0041	0.0011	***	-0.0091	0.0009	***
配偶者の年間収入の比率	-0.0174	0.0053	***	-0.0042	0.0057		-0.0312	0.0056	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0190	0.0092	**	0.0024	0.0040		-0.0125	0.0049	**
財産収入（対数）	-0.0009	0.0005	**	-0.0010	0.0003	***	-0.0007	0.0003	***
貯蓄現在高（対数）	-0.0038	0.0005	***	-0.0048	0.0003	***	-0.0038	0.0002	***
負債現在高（対数）	0.0004	0.0003		0.0005	0.0002	***	0.0005	0.0001	***
住宅・宅地資産額（対数）	-0.0023	0.0008	***	-0.0012	0.0005	***	-0.0009	0.0004	***
大都市圏ダミー	-0.0028	0.0016	*	-0.0055	0.0010	***	-0.0051	0.0008	***
末子の年齢（0～5歳）									
6～12歳	0.0128	0.0022	***	0.0087	0.0015	***	0.0036	0.0012	***
13～15歳	0.0229	0.0030	***	0.0155	0.0020	***	0.0145	0.0019	***
16～18歳	0.0305	0.0035	***	0.0199	0.0023	***	0.0136	0.0022	***
19歳以上	0.0301	0.0040	***	0.0093	0.0026	***	0.0118	0.0024	***
定数	0.1313	0.0240		0.1819	0.0205	***	0.2225	0.0122	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.119			0.112			0.131		
F	17.739			37.033			61.185		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-13 消費支出の構成に関する回帰分析の結果、世帯類型別、宿泊料

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.0012	0.0027		0.0011	0.0010		-0.0025	0.0011	**
性別ダミー	-0.0042	0.0031		0.0023	0.0032		-0.0015	0.0022	
世帯主の年齢	0.0001	0.0005		-0.0004	0.0002	**	0.0003	0.0002	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	*	0.0000	0.0000	*
年間収入(対数)	0.0005	0.0006		0.0006	0.0003	*	0.0019	0.0004	***
配偶者の年間収入の比率	0.0015	0.0024		0.0009	0.0016		0.0057	0.0023	**
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0076	0.0042	*	0.0003	0.0011		0.0030	0.0020	
財産収入(対数)	-0.0001	0.0002		0.0001	0.0001		0.0002	0.0001	
貯蓄現在高(対数)	0.0006	0.0002	***	0.0004	0.0001	***	0.0004	0.0001	***
負債現在高(対数)	-0.0001	0.0001		-0.0001	0.0000	***	-0.0001	0.0001	*
住宅・宅地資産額(対数)	0.0004	0.0004		0.0000	0.0001		0.0004	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0016	0.0007	**	0.0004	0.0003		0.0006	0.0003	
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	-0.0033	0.0010	***	-0.0007	0.0004	*	-0.0021	0.0005	***
13~15歳	-0.0037	0.0014	***	-0.0017	0.0006	***	-0.0031	0.0008	***
16~18歳	-0.0043	0.0016	***	-0.0005	0.0006		-0.0030	0.0009	***
19歳以上	-0.0029	0.0018		0.0000	0.0007		-0.0007	0.0010	
定数	-0.0006	0.0109		0.0033	0.0057		-0.0146	0.0051	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.015			0.011			0.017		
F	2.916			4.190			7.821		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-14 消費支出の構成に関する回帰分析の結果、世帯類型別、月謝類

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	-0.0018	0.0045		0.0021	0.0029		0.0038	0.0023	
性別ダミー	0.0060	0.0052		0.0039	0.0090		0.0020	0.0047	
世帯主の年齢	0.0035	0.0008	***	0.0043	0.0006	***	0.0040	0.0005	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	***	0.0000	0.0000	***	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	-0.0017	0.0009	**	0.0012	0.0009		0.0051	0.0008	***
配偶者の年間収入の比率	0.0088	0.0040	**	-0.0042	0.0045		0.0150	0.0050	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0007	0.0070		0.0017	0.0032		-0.0024	0.0043	
財産収入(対数)	0.0005	0.0003		-0.0001	0.0003		-0.0002	0.0002	
貯蓄現在高(対数)	0.0009	0.0004	*	0.0011	0.0002	***	0.0006	0.0002	***
負債現在高(対数)	-0.0002	0.0002		-0.0004	0.0001	***	-0.0001	0.0001	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0014	0.0006	**	0.0009	0.0004	**	0.0005	0.0003	**
大都市圏ダミー	0.0046	0.0012	***	0.0034	0.0008	***	0.0035	0.0007	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0062	0.0017	***	0.0029	0.0012	**	0.0078	0.0011	***
13~15歳	-0.0099	0.0023	***	-0.0174	0.0016	***	-0.0185	0.0017	***
16~18歳	-0.0149	0.0027	***	-0.0187	0.0018	***	-0.0198	0.0019	***
19歳以上	-0.0151	0.0030	***	-0.0196	0.0021	***	-0.0225	0.0022	***
定数	-0.0723	0.0182	***	-0.0917	0.0162	***	-0.1132	0.0108	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.116			0.140			0.146		
F	17.278			47.472			69.320		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-15 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, 理美容サービス代

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0019	0.0017		0.0003	0.0009		-0.0020	0.0008	***
性別ダミー	-0.0016	0.0020		-0.0024	0.0028		-0.0025	0.0015	
世帯主の年齢	0.0007	0.0003	**	0.0002	0.0002		-0.0004	0.0001	***
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000	**	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0005	0.0004		0.0006	0.0003	**	0.0012	0.0003	***
配偶者の年間収入の比率	0.0018	0.0015		0.0003	0.0014		0.0043	0.0016	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0019	0.0027		0.0006	0.0010		0.0019	0.0014	
財産収入(対数)	-0.0002	0.0001		0.0001	0.0001		0.0002	0.0001	***
貯蓄現在高(対数)	0.0002	0.0001		0.0004	0.0001	***	0.0003	0.0001	***
負債現在高(対数)	0.0001	0.0001		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0001	0.0002		0.0000	0.0001		0.0004	0.0001	***
大都市圏ダミー	0.0003	0.0005		0.0002	0.0003		0.0003	0.0002	
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0008	0.0006		-0.0003	0.0004		0.0004	0.0003	
13~15歳	0.0005	0.0009		-0.0010	0.0005	*	-0.0006	0.0006	
16~18歳	0.0000	0.0010		-0.0002	0.0006		-0.0009	0.0006	
19歳以上	0.0020	0.0012	**	0.0009	0.0006		-0.0010	0.0007	
定数	-0.0103	0.0069		-0.0010	0.0050		0.0078	0.0035	**
Adj. R <sup>2</sup>	0.012			0.014			0.018		
F	2.449			5.056			8.426		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-16 消費支出の構成に関する回帰分析の結果, 世帯類型別, こづかい

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0037	0.0136		0.0121	0.0078		0.0124	0.0057	**
性別ダミー	0.0136	0.0156		0.0335	0.0241		0.0398	0.0116	***
世帯主の年齢	0.0001	0.0025		-0.0014	0.0016		-0.0013	0.0011	
世帯主の年齢の2乗	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	
年間収入(対数)	0.0047	0.0028		0.0057	0.0024	**	0.0034	0.0020	*
配偶者の年間収入の比率	-0.0193	0.0120		-0.0207	0.0120	*	-0.0141	0.0122	
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0595	0.0210	***	0.0332	0.0086	***	0.0544	0.0106	***
財産収入(対数)	-0.0007	0.0010		-0.0011	0.0007		-0.0015	0.0006	***
貯蓄現在高(対数)	0.0022	0.0011	**	0.0009	0.0006		0.0021	0.0005	***
負債現在高(対数)	-0.0007	0.0006		0.0001	0.0004		0.0000	0.0003	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0005	0.0019		-0.0012	0.0011		-0.0011	0.0008	
大都市圏ダミー	0.0011	0.0036		0.0043	0.0022	*	0.0012	0.0018	
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0069	0.0051		0.0105	0.0032	***	0.0047	0.0026	*
13~15歳	0.0103	0.0068		0.0117	0.0043	***	0.0125	0.0042	***
16~18歳	0.0195	0.0080	**	0.0188	0.0048	***	0.0205	0.0047	***
19歳以上	0.0299	0.0092	***	0.0282	0.0055	***	0.0305	0.0053	***
定数	-0.0016	0.0547		0.0036	0.0433		0.0090	0.0266	
Adj. R <sup>2</sup>	0.026			0.040			0.036		
F	4.265			12.800			15.753		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-17 消費支出の構成に関する回帰分析の結果、世帯類型別、交際費

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0077	0.0085		0.0020	0.0046		0.0016	0.0034	
性別ダミー	0.0035	0.0097		-0.0088	0.0140		-0.0003	0.0069	
世帯主の年齢	-0.0048	0.0015	***	-0.0054	0.0009	***	-0.0041	0.0007	***
世帯主の年齢の2乗	0.0001	0.0000	***	0.0001	0.0000	***	0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0079	0.0018	***	0.0036	0.0014	**	0.0055	0.0012	***
配偶者の年間収入の比率	0.0313	0.0075	***	-0.0004	0.0070		0.0314	0.0073	***
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	0.0175	0.0131		0.0053	0.0050		0.0091	0.0063	
財産収入(対数)	-0.0006	0.0006		-0.0001	0.0004		0.0007	0.0003	**
貯蓄現在高(対数)	0.0025	0.0007	***	0.0017	0.0004	***	0.0020	0.0003	***
負債現在高(対数)	0.0007	0.0004	*	0.0004	0.0002	*	0.0004	0.0002	
住宅・宅地資産額(対数)	0.0000	0.0012		0.0005	0.0006		0.0006	0.0005	
大都市圏ダミー	-0.0045	0.0023	**	0.0004	0.0013	*	-0.0007	0.0011	
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	-0.0084	0.0031	***	-0.0025	0.0018		-0.0072	0.0016	***
13~15歳	-0.0153	0.0043	***	-0.0070	0.0025	***	-0.0118	0.0025	***
16~18歳	-0.0149	0.0050	***	-0.0053	0.0028	*	-0.0131	0.0028	***
19歳以上	0.0000	0.0057		0.0056	0.0032	*	0.0020	0.0032	
定数	0.0654	0.0340		0.1218	0.0252	***	0.0803	0.0158	***
Adj. R <sup>2</sup>	0.054			0.037			0.038		
F	8.090			12.033			16.927		
N	1,979			4,566			6,388		

付表1-18 消費支出の構成に関する回帰分析の結果、世帯類型別、仕送り金

説明変数	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性	係数	標準誤差	有意性
持ち家の有無ダミー	0.0382	0.0155	**	0.0040	0.0079		0.0045	0.0042	
性別ダミー	0.0033	0.0179		0.0112	0.0243		0.0041	0.0085	
世帯主の年齢	-0.0036	0.0028		-0.0006	0.0016		-0.0027	0.0008	***
世帯主の年齢の2乗	0.0001	0.0000	*	0.0000	0.0000		0.0000	0.0000	***
年間収入(対数)	0.0025	0.0033		0.0074	0.0024	***	0.0067	0.0015	***
配偶者の年間収入の比率	0.0223	0.0137		0.0197	0.0121		0.0227	0.0090	**
65歳未満の世帯員における 年間収入の比率	-0.0308	0.0240		-0.0329	0.0086	***	-0.0051	0.0078	
財産収入(対数)	0.0004	0.0012		0.0023	0.0007	**	0.0007	0.0004	*
貯蓄現在高(対数)	0.0024	0.0013	*	0.0008	0.0006		0.0003	0.0004	
負債現在高(対数)	-0.0010	0.0007		-0.0009	0.0004	**	-0.0006	0.0002	**
住宅・宅地資産額(対数)	-0.0037	0.0021	*	0.0008	0.0011		0.0001	0.0006	
大都市圏ダミー	-0.0201	0.0042	***	-0.0170	0.0022	***	-0.0097	0.0013	***
末子の年齢(0~5歳)									
6~12歳	0.0045	0.0058		0.0009	0.0032		-0.0008	0.0019	
13~15歳	0.0306	0.0078	***	0.0123	0.0043	***	0.0106	0.0031	***
16~18歳	0.0709	0.0092	***	0.0408	0.0048	***	0.0302	0.0035	***
19歳以上	0.0328	0.0105	***	0.0259	0.0055	***	0.0128	0.0039	***
定数	0.0196	0.0625		-0.0576	0.0436		0.0029	0.0196	
Adj. R <sup>2</sup>	0.127			0.080			0.074		
F	19.029			25.930			33.044		
N	1,979			4,566			6,388		

付表2 基本統計量, 世帯類型別, 2009年

世帯類型	配偶者が正規			配偶者が非正規			配偶者が無業		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
変数									
消費支出に対する家賃の比率	0.0334	0.0759	1,979	0.0376	0.0801	4,566	0.0622	0.1023	6,388
消費支出に対する電気代の比率	0.0285	0.0167	1,979	0.0303	0.0171	4,566	0.0304	0.0175	6,388
消費支出に対するガスの比率	0.0128	0.0117	1,979	0.0159	0.0135	4,566	0.0167	0.0130	6,388
消費支出に対する上下水道代の比率	0.0169	0.0138	1,979	0.0203	0.0151	4,566	0.0199	0.0149	6,388
消費支出に対する家事用消耗品の比率	0.0070	0.0050	1,979	0.0081	0.0052	4,566	0.0088	0.0058	6,388
消費支出に対する家事サービス代の比率	0.0027	0.0083	1,979	0.0026	0.0069	4,566	0.0021	0.0063	6,388
消費支出に対する男性用被服費の比率	0.0091	0.0146	1,979	0.0084	0.0131	4,566	0.0085	0.0151	6,388
消費支出に対する女性用被服費の比率	0.0163	0.0203	1,979	0.0131	0.0155	4,566	0.0123	0.0168	6,388
消費支出に対する交通費の比率	0.0163	0.0287	1,979	0.0177	0.0313	4,566	0.0191	0.0345	6,388
消費支出に対する自動車等維持費の比率	0.0688	0.0556	1,979	0.0655	0.0524	4,566	0.0618	0.0535	6,388
消費支出に対するガソリン代の比率	0.0324	0.0294	1,979	0.0309	0.0274	4,566	0.0271	0.0260	6,388
消費支出に対する通信費の比率	0.0571	0.0353	1,979	0.0624	0.0362	4,566	0.0583	0.0342	6,388
消費支出に対する宿泊料の比率	0.0050	0.0152	1,979	0.0024	0.0096	4,566	0.0036	0.0135	6,388
消費支出に対する月謝類の比率	0.0153	0.0267	1,979	0.0174	0.0291	4,566	0.0189	0.0307	6,388
消費支出に対する理美容サービス代の比率	0.0077	0.0096	1,979	0.0068	0.0084	4,566	0.0069	0.0093	6,388
消費支出に対するこつかいの比率	0.0567	0.0765	1,979	0.0668	0.0736	4,566	0.0615	0.0710	6,388
消費支出に対する交際費の比率	0.0549	0.0484	1,979	0.0406	0.0428	4,566	0.0437	0.0424	6,388
消費支出に対する仕送りの比率	0.0277	0.0925	1,979	0.0180	0.0758	4,566	0.0085	0.0533	6,388
持ち家の有無ダミー	0.8009	0.3994	1,979	0.7665	0.4231	4,566	0.6398	0.4801	6,388
性別ダミー	0.9879	0.1095	1,979	0.9980	0.0444	4,566	0.9939	0.0779	6,388
世帯主の年齢	42.5073	7.6959	1,979	43.6564	7.5142	4,566	40.6113	8.0415	6,388
世帯主の年齢の2乗	1,866.0697	658.0684	1,979	1,962.3292	650.2796	4,566	1,713.9335	673.5208	6,388
年間収入(対数)	6.6939	0.7125	1,979	6.4173	0.6032	4,566	6.3211	0.6222	6,388
配偶者の年間収入の比率	0.3843	0.1461	1,979	0.1526	0.1132	4,566	0.0191	0.0930	6,388
65歳未満の世帯員における年間収入の比率	0.0242	0.0957	1,979	0.0338	0.1353	4,566	0.0193	0.0950	6,388
財産収入(対数)	0.3444	1.6469	1,979	0.3068	1.5667	4,566	0.2911	1.5182	6,388
貯蓄現在高(対数)	6.2413	1.6723	1,979	5.7679	1.8378	4,566	5.8597	1.7700	6,388
負債現在高(対数)	4.0836	3.5960	1,979	3.9899	3.5889	4,566	3.2624	3.6424	6,388
住宅・宅地資産額(対数)	6.1234	2.9955	1,979	5.8577	3.1276	4,566	5.0466	3.6292	6,388
大都市圏ダミー	0.3542	0.4784	1,979	0.4630	0.4987	4,566	0.5581	0.4967	6,388
6~12歳ダミー	0.2436	0.4293	1,979	0.3314	0.4708	4,566	0.1999	0.4000	6,388
13~15歳ダミー	0.1238	0.3294	1,979	0.1441	0.3512	4,566	0.0683	0.2522	6,388
16~18歳ダミー	0.0960	0.2947	1,979	0.1194	0.3242	4,566	0.0618	0.2409	6,388
19歳以上ダミー	0.1091	0.3119	1,979	0.1174	0.3219	4,566	0.0758	0.2646	6,388